

令和8年度 第1回飛騨市公共施設在り方検討部会 議事要旨

日 時	令和8年6月16日(火) 16時00分～18時05分
場 所	飛騨市役所 西庁舎3階 大会議室
出席委員	有識者(1名)、各町の区長会長(4名)、専門委員(市内各種団体推薦者7名) 計 12名
市出席者	都竹淳也市長 財政課 土田治昭課長 総合政策課 下通剛課長 地域包括ケア課 佐藤博文課長 まちづくり観光課 今村彰伸係長 スポーツ振興課 中垣浩太郎課長 河合振興事務所 川邊哲生次長 宮川振興事務所 清水則久所長 神岡振興事務所 地域振興課 麻生貴秀課長
事務局	建築管財部 田中義也部長 管財課 西田博和次長兼課長、澤田充弘課長補佐兼係長、渡邊康智主幹
議 事	説明事項 ①部会の役割について ②公共施設の維持管理を取り巻く「危機的課題と現状」について (1)市の財政状況と見通しについて (2)市の公共施設保有状況と老朽度について (3)経常的、突発的に発生する高額修繕費などについて (4)検討対象20施設の運営状況について 協議事項 ①部会における方向性検討の目標、視点について (1)施設維持管理費と大規模改修費の削減目標について (2)目標達成のための方向性と代替案・活用案の創出について ②自由討議

議 事 要 旨

【事務局説明事項】

①部会の役割について 資料 No 1

②公共施設の維持管理を取り巻く「危機的課題と現状」について 資料 No 2～5

【協議事項】

①部会における方向性検討の目標、視点について

(1)施設維持管理費と大規模改修費の削減目標について 資料 No 6

(2)目標達成のための方向性と代替案・活用案の創出について 資料 No 7

【結論】

- ① 維持管理・修繕費に関し年間 1 億円削減、施設を維持し続ける上で今後 10 年に必要となる大規模改修費を 15 億円削減するという目標について、インフレを考慮する方向で検討する。
- ② 施設の廃止・縮小については、施設の活用策や影響緩和策も併せて検討する。

【委員意見】 ※矢印は市の応答

- ① 今後の修繕費等については、インフレによる上昇を考慮した方が良いのではないか。
- ② 感情に流されず、公平な数字に基づいた判断が大切ではないか。
- ③ 評価にあたって市が重視する点は何か。例えば、利用者数、費用など。
⇒ 費用抑制が第 1 目標。ただし、利用者や経済波及効果を楽しむ事業者への影響を踏まえ、総合的に評価する必要がある。
- ④ 施設の費用対効果について、カテゴリーごとに比較できる資料があると良い。
- ⑤ 費用対効果だけでは僻地が切り捨てられるおそれ。地域の感情や事情も汲み取って議論していくべきではないか。
- ⑥ 廃止・縮小だけでなく、施設の活用や影響緩和についても考えていくことが重要である。

②自由討議

【委員意見】 ※矢印は市の応答

- ① 温浴施設やスキー場について、市民と観光客の利用者数を分けて示してもらえれば、施設の特徴がより明確になり、判断の目安になるのではないか。
⇒ 利用者数について、市民と観光客を分けて分けてカウントしていない施設も多く、運営者が感覚的に把握している利用割合は資料No.5 で一部提示されている。改めて整理し、市から資料を提示する。
- ② 各施設の優先順位に関する市の考え方を提示して欲しい。
⇒ 優先順位の考え方に関しては、これまで市が議会等で答えてきたことを整理し、市から資料を提示する。市の考え方が適切かどうかも含めて議論願いたいので、資料はあくまで参考となる。
- ③ 高齢者に対し、温浴施設の存在が自宅浴室の清掃負担を軽減し、入浴行動に寄与していることも考慮して検討した方がよいのではないか。
- ④ 限られたお金について、ごく一部の少数のために使うのか多数のために使うのかということ、福祉サービスへの影響も勘案しつつ、感情論に流されず冷静に判断する必要があるのではないか。